

一般質問通告書

平成26年3月定例会

1番 河野 朋子 議員

1 病院経営について

- (1) 今回収支計画が改訂され、これまでの計画と差異が生じているがその理由は何か。
- (2) 今後の経営見通しはどうか。また、経営基盤強化の方策はどのようなことを考えているか。

2 埴生地区と市民病院の直通バスについて

- (1) 運行実施の経緯と決定過程はどうか。
- (2) 運行の実施状況はどうか。
- (3) 市民への周知はどのようにしているのか。

3 学校給食施設の建設について

- (1) 市長が1センターに決定した理由は何か。また、市民を巻き込んでのこれまでの議論を市長はどのように受け止めたのか。
- (2) 1センターに対して配送時間等いろいろな不安の声が市民から上がっていたが、それらに対する改善策はあるのか。

2番 中村 博行 議員

1 汚水処理について

- (1) 本市の汚水処理の方式、公共下水道・農業集落排水・合併浄化槽・単独浄化槽の割合はどうか。
- (2) 単独浄化槽については下水道もしくは合併浄化槽に変える指導があったと思うが、本市公共施設の状況はどうか。
- (3) 下水道整備は必要な事業だが、多額の経費を伴う。将来的な計画はどうか。

2 農業政策について

- (1) 集落営農法人で「人・農地プラン」を活用し、成果を挙げている法人の状況はどうか。
- (2) 集落営農の法人化にはメリットのみが強調されているが、課題もあるのではないか。
- (3) 青年就農給付金の受給者の状況と26年度の見通しはどうか。また市

として、どのようなサポートをしているのか。

(4) 国の言う「攻めの農政」とは具体的にどのようなことか。

3 防災について

(1) 新規事業である単県緊急対策事業(土地基盤対策)とはどんな事業で、対象地域はどこか。

(2) 東下津地区内水対策においてポンプの増設が一番とは思いますが、財政的にどうなのか。

(3) 地区防災訓練の充実に向けて、行政から積極的な指導、アドバイスをしてはどうか。

4 ふるさと納税について

(1) 近年の状況からは前向きな努力が感じられないが、どのように位置づけているのか。

(2) 2013年は「ふるさと納税ブーム」とさえ言われていたようだが、その認識はあったか。

(3) 本市の魅力を広く多方面に発信するアイテムとして活用する考えはないか。

5 市道の安心安全について

(1) 通学路について市道以外の一般生活道についても十分な協議・調査はされたのか。

(2) カーブミラー設置申請状況と待機期間はどのくらいか。

(3) 道路パトロールはどのようにされているか。

3番 吉永美子 議員

1 安心・安全なまちづくりについて

(1) 災害時においても市の業務が継続できるよう、業務継続計画(行政版BCP)策定の考えを聞く。

(2) 地域の防災を預かる消防団の処遇改善について、見直しはあるのか。

2 東日本大震災被災地への支援について

現状と今後の予定を聞く。

3 民間力の活用について

(1) 平成22年12月議会で質問した市営住宅の指定管理者制度導入について検討状況を聞く。

(2) 文化会館の館長について公募をどうするか。

(3) 学校給食共同調理場の運営について、民間委託内容の予定について聞く。

4 観光振興について

(1) 策定予定の観光振興ビジョンは、文化振興ビジョンとどのように連動するのか。

(2) 観光課新設に伴い、観光協会の活動支援は強化されるのか。

4番 石田清廉 議員

1 市内小・中学校の適正規模、適正配置について今後、検討する考えはあるのか。

今後、さらに少子化が進むことが予想される中で、全国的に学校の小規模化現象が進んでいくものと見込まれる。そうした中で、将来にわたって義務教育の機会均等、教育水準の維持・向上を図り、子供が「生きる力」を育むことができる学校教育を保障する観点から、本市においても学校の適正規模、適正配置のあり方について検討することが必要である。このような背景から次のことを問う。

(1) 市内、小・中学校の規模、配置の現状と将来における推移はどのように考察しているのか。

(2) 望ましい学校規模と適正配置の基準は何か。

(3) 小規模校の教育上の利点と課題は何か。

(4) 今後、学校規模、適正配置を検討される場合どのような方法と、その際の留意点は何か。

2 本市の指定管理者制度の取り組みにおける、進捗状況、成果と課題について問う。

指定管理者制度の目的は多様化する市民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、公の施設に民間のノウハウを活用しつつ市民サービスの向上を図るとともに行政経費の削減などを図ることを目的として制度が導入された。今日までの実績を顧みて次のことを問う。

(1) 本市の制度導入の目的に対する達成度は。市民への行政サービス等の成果はどう表われているか。

(2) 指定管理者指定の応募方法と手続、また、選定委員会の構成委員と審査基準は適正か。

(3) 制度運用上の留意点は何か。今後より成果を高めるための改善点はどのようなものか。

5番 大井淳一郎 議員

1 行政資源の活用について

経営資源の要素に「ヒト・モノ・カネ」が挙げられるが、これらは行政運営にも当てはまる。必要かつ有限なこれらの資源を活かすために本市は

いかなる施策を講じ、今後講じようとしていくのかについて問う。

2 成長戦略室について

機構の見直しに伴い、市長専属の部署として「成長戦略室」を設置するが、いまだ具体像が見えてこない。成長戦略室が取り組む当面の課題とは何か、市長の特命事項として何を想定しているのか、原課との連携をどのようにとっていくのかについて問う。

6番 岩本信子 議員

1 学校給食について

- (1) 食育の観点からの教育委員会の考え方の確認について
- (2) 市政説明会で市民に示した親子方式についてどう考えたのか。
- (3) 現在行われている親子方式はなぜできたのか。
- (4) センター方式と保護者からの要望が多い親子方式の差額は、子育て支援策にはならないのか。
- (5) 共同調理場設置は条例設置ではないのか。
- (6) 給食センター予定敷地の広さは適正か。
- (7) まちづくりの基盤整備と学校給食の安心・安全は総合計画からみた整合性はあるのか。

2 コミュニティ・スクールについて

- (1) コミュニティ・スクールの取り組みはどうか。
- (2) 学校運営協議会は設置されているのか。
- (3) 学校支援地域本部の取り組みはどうか。
- (4) 地域と学校の一体的な取り組みはどうか。

7番 長谷川知司 議員

1 防災・危機管理

公共施設の防災・危機管理の実施状況を知りたい。

- (1) 市民館駐輪場等のその後の進捗状況について
- (2) 公共施設の防災・避難訓練の実施内容について

2 指定管理者制度

指定管理者制度の今後について

- (1) 指定管理者制度モニタリングの実施結果と評価方法及びその活用について
- (2) 二期目の指定方針と審査選考内容について重要なことは。

3 トイレ教育

幼稚園・保育園及び小中学校での必要な教育・指導

- (1) トイレ教育の有無及び内容
- (2) 幼稚園・保育園及び小中学校でのトイレの洋・和式便器の設置割合、ドライ化等の割合、トイレ掃除の実態
- (3) 「我慢しない排便」のために必要と思う対策

8番 福田 勝 政 議員

1 都市公園の管理について

- (1) 竜王山公園と江汐公園のキャンプ場の利用者の使用条件が違うのはなぜか。
- (2) 年末年始の公園使用の状況を聞く。
- (3) 竜王山で発見されたハマセンダン（ミカン科）に現地に案内標識や説明書きなどが無いが、取り組むのか。
- (4) 竜王山の8合目付近の駐車場に、多くの野良猫がいるが、どうかならないか。
- (5) 禁猟区になっている江汐公園には多くのイノシシがおり、年々ふえていく。人に危害が起こらない内に駆除対策が必要と思うが。
- (6) 東沖緑地公園の管理について
公園内に2カ所の水洗トイレがあり、南のトイレが使用禁止になっているが、どうするのか。
- (7) 広域の避難場所は、竜王山公園、江汐公園、須恵公園の3カ所でよいのか。

2 市営住宅の管理について

- (1) 昨年4月に古開作の市営住宅に住宅用電気分電盤（テンパール）の事故が発生したが、状況、賠償額、対策を聞く。
- (2) 市営住宅使用者との入居契約書について

3 新市立病院における進捗状況について

- (1) 雇用問題について
- (2) 請負契約で地元業者に40%下請けとされているが、発注状況は。
- (3) 市民目線での安全対策について

4 有帆における道路改良について（市道、県道）

- (1) 完成がおくれている理由
- (2) 県道から市道への変更のメリット、デメリットは。

9番 杉 本 保 喜 議員

1 JR小野田駅周辺地区の整備の具体的促進策を問う。

厚狭駅南側においてコンパクトシティ計画が挙げられているが、同様の

都市核である小野田駅周辺の整備については、このたび予算として、小野田駅前土地区画整理区画整備事業を挙げている。都市計画マスタープランにおける方針において、今回の事業をはじめとしてどのように進めていくのか。

2 有帆地区の活性化について施策を問う。

今有帆地区は、身近な生活に必要なマーケットや医院もなく、住みづらい環境になっている。また、最近の児童の減少傾向は顕著であり、地域住民の心痛するところである。行政の立場として、「少子高齢化対策、地域医療の充実」を予算方針に挙げる中、このような現状を打開する対策を知らせてほしい。

3 コミュニティ活動保険制度の検討状況と具体的実施予定を問う。

12月議会で質問した事項であり、26年度から実施していただきたい思いもあったが、今回の予算に入っていない。「安心・安全な地域社会の基盤づくりに重点を置く」予算編成方針の中で、この対応を述べていただきたい。

4 今年度の防災士育成事業の具体策を問う。

昨年度の防災士育成策の成果として、多くの防災士が誕生し、地域の基幹要員を得ることができた。これからの発展的計画を示していただきたい。

10番 山田伸幸 議員

1 学校給食方式をめぐる市教委の対応と市民の願いについて

- (1) 市教委は教育の問題である学校給食の方式の決定を市長に丸投げすることは市教委としての責務放棄につながらないか。
- (2) 市教委が検討していた2センターはリスク分散ではなかったのか。
- (3) 市民が要望している親子方式について、なぜ応えようとしないのか。

2 介護ボランティアポイント制度と地域通貨について

- (1) なぜ2年以上のポイント保持ができないのか。
- (2) 介護ボランティアをふやしていく必要性について
- (3) 地域通貨を導入して介護ボランティア制度の発展を。

3 公民館を中心とした地域づくりを

- (1) 公民館を中心とした地域づくりについての市の考えを問う。
- (2) 健康づくりの拠点としての公民館・福祉会館のあり方について

4 新有帆大橋開通に伴う公園通り周辺の交通問題について

- (1) 市としての対策について
- (2) セメント町周辺の抜け道対策について

1 1 番 岡 山 明 議員

1 市立図書館、学校図書館の環境整備、読書推進状況はどうか。

- (1) 市立図書館の年齢別使用状況はどうか。
- (2) 市立及び学校図書館の予算の配分はどうか。
- (3) 子ども読書活動推進計画（第二次計画）における基本計画施策体系の進捗状況はどうか。
- (4) 第二次計画における具体的取組一覧に対する実施計画はあるのか。
- (5) 取り組み結果を評価するシステムはあるのか。それに対する改善策、方法はどのようなものか。

2 たばこ対策について

- (1) 県たばこ対策ガイドラインに基づき、対策の取り組みの中心となる3つの柱「受動喫煙防止」、「喫煙防止」、「禁煙支援」の普及啓発活動の状況はどうか。
- (2) 本ガイドラインでは、受動喫煙防止対策の方法として、分煙から喫煙防止に変更とあるが、市としての対応はどうか。
- (3) 喫煙防止については、防煙から喫煙防止に変更されての対応はどうか。
- (4) 本ガイドラインに基づく対策にあたっては評価のための組織を設置し、進捗状況の評価を行い、その結果に基づき適切な対策を実施するとあるが、市としての対応はどうか。

3 天井等、落下防止対策について

- (1) 市として、体育館等の施設における吊り天井等の問題のある建物の把握はできているのかどうか。
- (2) 児童生徒等の安全確保、地域の防災拠点としての建物であり、現時点での使用に何ら問題はないのか。
- (3) 異常気象における積雪による事故等、これらに対応すべき対策はどうか。（ソフト面：使用の制限、退去指示等が明確化されているかどうか。）

1 2 番 下 瀬 俊 夫 議員

1 人事問題について問う。

- (1) 市長の施政方針で述べている「成長戦略室」の位置づけは、人事の硬直化が背景なのか。
- (2) 短期間の異動は、じっくり行政に取り組む専門家が育たない原因になっていないか。
- (3) 市長の顔色ばかりを伺い、自由な発想での行政に取り組む意欲あふれる職場になっていないのはなぜか。
- (4) サービス残業について問う。

2 臨時職員について問う。

- (1) 臨時職員の位置づけと役割は何か。
- (2) 埴生支所事件の原因と背景は何か。
- (3) 学校図書支援員の処遇改善について問う。
- (4) 現状のままでは「官製ワーキングプア」との指摘があるが、どう答えるのか。